

## 「タイ・セミナー 96(第7回)」ご案内

1996年5月 世話人 小野澤 正喜

真夏を先取りした暑さが続いておりますが、皆様お元気にお過ごしのことと存じます。第7回目を迎えるタイ・セミナーのご案内をいたします。昨年から当方で事務の仕事をお引き受けしながらいくつかの事情が重なってこの1年間ニューズレターもお送りせず、また、準備の不手際で皆さんにご迷惑をお掛したことお詫びいたします。

日程的には2転3転しましたが7月7日(日) - 8日(月)に決めさせて頂きました。また場所も時間的距離の点から京都にしました。来年以後についてどうあるべきか、ご欠席の方も返信葉書でご意見をお寄せ下さい。

今年は10月に第6回国際タイ学会がチェンマイで開催されます。日本のタイ研究の動向を分野毎にまとめる作業が進んでおります。北原淳先生が国際タイ学会でとりまとめて報告なさいます。今年度のタイ・セミナーでは歴史学、経済学、教育学の各分野について執筆者に中間報告をしてもらいます。

タイにおける日本人のNGO活動も再検討が必要な時期にさしかかっておりますが、そうした運動を代表してJVCの岩崎さんに報告を頂きます。あわせて来日中のスリチャイ・ワンゲーウ氏からタイのNGOの現況報告を受け、今後のあり方を皆で語りたいと思います。

一般発表は「周縁からみたタイ社会」として括らせてもらいましたが、統一テーマをたてて依頼することができなかったこと反省しております。

来年度以後は、年度のはじめに日程の通知と発表希望を問うフィードバックの過程が必要になると思いますが、会としてのプロジェクト、ニューズレター、Eメール、研究誌等の是非について議論して頂きたいと思っております。

互いに刺激し合い、励まし合う場とするべく準備を進めております。どうか万障お繰合せて御参加下さい。

(なおプログラムは仮題のものもあり、最終的なものは6月22日を目途に作成し参加希望者にお送りします。)

### 【参加申し込みの手続き、連絡について】

この通知を受け取った方は、同封の葉書(またはファックス用返信用紙)に懇親会参加、宿泊の希望有無等を明記しを6月29日(土)までにご返送ください。友人、知人からこのセミナーのことを知り、参加を希望される方も、同様の手続きでお申込み下さい。

〒305 つくば市天王台 筑波大学 歴史人類学系 小野沢研究室

[電話/ファックス] 298-53-4406

### 【参加費の支払いについて】

参加費等は下記の通りで、当日会場にて申し受けます。なお会場準備の都合から7月になってからのキャンセルについては下記金額を請求させて頂きます。

[参加費] 3,000円

[懇親会費] 6,000円

[宿泊費] 5,000円

なお文部省共済施設であるため文部省共済組合員証(コピー可)を提示された方の宿泊費は1,000円割引になりますので、ご持参下さい。

# タイ・セミナー 96 プログラム(最終版)

1996年7月7日 - 8日

於 京都 御車会館

〒602 京都市上京区河原町今出川下る東入る

電話 075-211-5626 ~ 8, FAX.075-255-5334

## 7月7日(日)

- 12:30 受付開始
- 13:00-18:00 **【研究発表：周縁からみたタイ社会】**
- 13:00-13:45 北タイ農村の変動と女性 飯田 淳子
- 13:45-14:30 農村社会に関するジェンダー分析の意義について  
- - コンケン市近郊農村の事例から - 江藤 双恵
- 14:30-15:15 東北タイ農村の守護力(コング・ハクサー) - モーラム  
・ピーファーの事例より 加藤 真理子
- 15:15-15:45 休 憩
- 15:45-16:30 北タイ、カレン族における宗教変化の諸側面 速水 洋子
- 16:30-17:15 タイと中国におけるアカ諸族の国民統合過程の違いについて 稲村 務
- 17:15-18:00 上座仏教・民族・社会変化 - 比較調査研究の現状と展望 - 林 行夫
- 19:00 ~ 21:00 懇 親 会

## 7月8日(月)

- 10:00-12:00 **【日本のタイ研究の動向】**
- 10:00-11:00 経済学分野の研究動向 池本 幸生 / 宮田敏之
- 11:00-12:00 教育学分野の研究動向 村田 翼夫
- 12:00-13:00 昼休み
- 13:00-15:00 **【タイ社会の開発と援助をめぐる諸問題 - - NGO活動の再検討】**
- 13:00-14:00 タイにおけるNGOのあり方再考 - JVCの経験から 岩崎 美佐子
- 14:00-15:00 タイ人のNGOと「開発」の再検討  
スリチャイ・ワンゲーウ
- 15:00-15:30 討議：タイ・セミナーの今後のありかたについて